

犬の命

二年 牧田莉音

みなさんは犬が大量に殺処分されている事を知っていますか？実は「大量」と言っても、年々殺処分されている数は減っています。ですが去年殺処分された犬達は4059匹にも及びます。減っているとは言いつつも、まだ数千匹もの犬が殺されているのが現状です。そもそも、殺処分される犬達はどのような理由でその経緯に至ったのでしょうか？

それは、保健所に来る犬達が多すぎる事が原因です。その考えられる理由の一つ目は、「衝動買い」をする人が多いという事です。衝動買いをする事で、犬を飼育できる環境や飼育方法などが万全ではなく捨ててしまう事があります。二つ目に、「飼い主の経済状況の悪化」です。飼育費用が払えなくなってしまう、飼育放棄に至ってしまう事があります。三つ目に「去勢手術」「避妊手術」をさせない事です。犬は人間とは異なり、一回の妊娠で何匹もの仔犬を産みます。なので経済的にも辛くなったりお世話がとても大変になります。それにより捨ててしまうという事があります。このような事を防ぎ、殺処分されてしまう犬達を減らすにはどのような方法があるのでしょうか？

まず私は、保護犬を受け入れる時のようにアンケートをとってから、犬を飼うという流れにしたら良いのではないかと思います。例えば、「身内でお世話できる人はいるか」や「犬の飼育経験はあるか」などです。そうすれば、飼い主がお世話できない状態になってしまっても身内の人にしてもらえれば、飼育放棄される事はないと思います。次に、犬の飼育できる環境を整えてそれを写真でペットショップの店員に見せるというのも良いのではないかと思います。そうすれば犬を衝動買いしてその後困るという事はないだろうと考えたからです。

私は、正直ここであげた解決策は法律自体が変わらないと達成する事は無理だと思います。なので私は、この作文に書いてある事を頭の片隅に置いておく事が、できる事だと思います。いつか犬を飼う時にそれを思い出し一人一人が意識する事で殺処分される犬達が減るのを願うばかりです。